共同組合ハ労働組合ト協同シテ必要的ニ闘争
的組合ニ発展シノ可能性アリ、故ニ之ヲ指導スルノ
必要ハ実ニ大ナリ
組合会議ノ組織分ダヲ失フトモ、大衆ハ党ヲ
最初ノ要求ニ反ス協調組合ガ実際的連絡ヲ必要トス
又同時ニ考ヘラレズ、
外ラゲハ組合ノ連絡機関ニシテ指導精神ヲ
追随結束セラルヽコトナシ、大衆ガハツキリ衝動
シダフハ大ナル利アリ、しかし、組合同盟ニ対スル戦術ニ
外ラガハ参加ヲ強調セザルベカラズ、外ラゲハ参加
然シ未ダ解釈ニ依リテハ中央委員会ノ決定又ハ
運動方針ニ反スルモ一般大衆ヘノ最初ノ影響ハ大ナラズ

全国労働組合ノ際共産主義ヲ標傍スルハ
自ラ自滅ノ道ヲ選ブニ外ナラズ、如ニイニター
ナルコトニ反対シ、且ツ際労働組合ヲ否認シ、社
民主義ヲ否認スルモノトナルベシ、故ニ共産主義ノ
ナリ、然ニ、然モノ得レカニ組合ヲ決定シ、且ツ際
組ニ之ヲ採択シテ方針ヲ決定セザルベカラズ、十八
ヨリ分テ之ニ於テハ共産主義ヲ指導精神トセズ
又同一非合法ノ団体トナリ、協安組織ハ解体シ
又ヨナル実ヲ採ラザルベカラズ、全国労働組合ノ本
然ニマルクス、レーニンノ主義ヲ宣言シ、文字ニ
拘泥セズ自己ノ解釈ヲ以テ進マザルベカラズ、
故ニ外ラゲハ実ノ加ヘ、右翼ニ対スル協力性アル